

205年ぶりの本殿建て直し
鳥飼八幡宮 ご遷宮
みなさんと新しい神社を創ります



鳥飼八幡宮遷宮奉賛会

古代から現代まで、日本を支えてきた方々とのゆかりがあり、近世以降は、福岡の発展とともに歩んできた神社です。

玄洋社・修猷館
日本の近代化に寄与
した先達からの崇敬

福岡財界の重鎮から崇敬

福岡の発展を
祈りの面で
支えてきた神社

起源は約1800年前

神功皇后の三韓征伐
鳥飼氏がおもてなし

平野国臣など
明治維新にゆかり

筑前名所図会に
描かれた当社
現在の社殿の姿

南当仁小付近に
長年鎮座

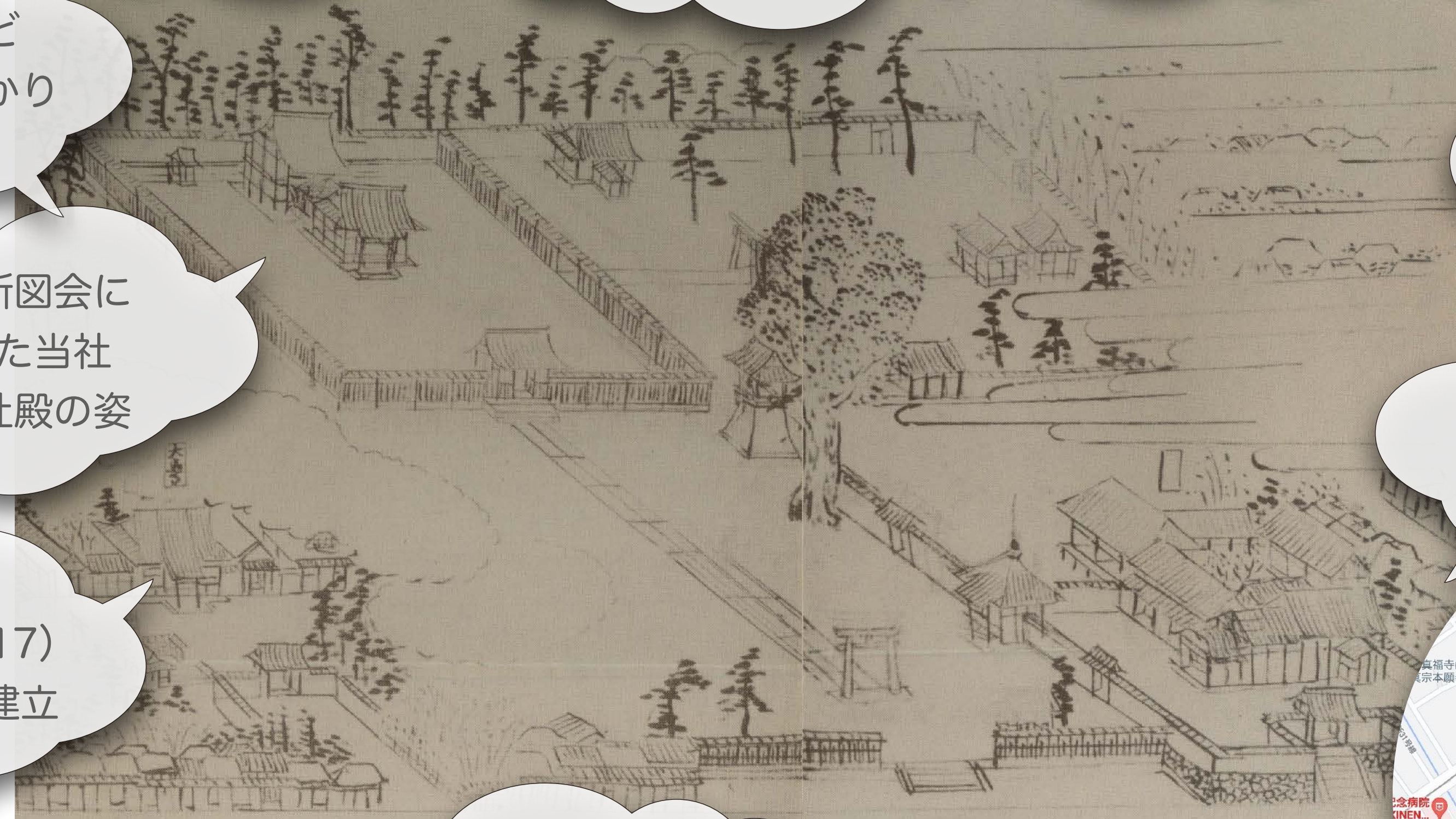
文化14年（1817）
現在の本殿が建立



藩主黒田家の氏神
城下町福岡の鎮守に

慶安5年（1608）
現在地に遷座

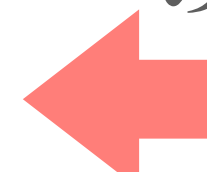
遷宮を重ね
信仰を集めてきた



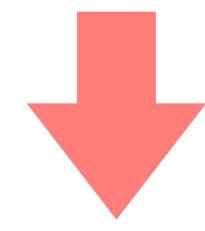


文化14年（1817）建立

二〇五年の
風雪を経て



まだまだ
使用できそうですが...

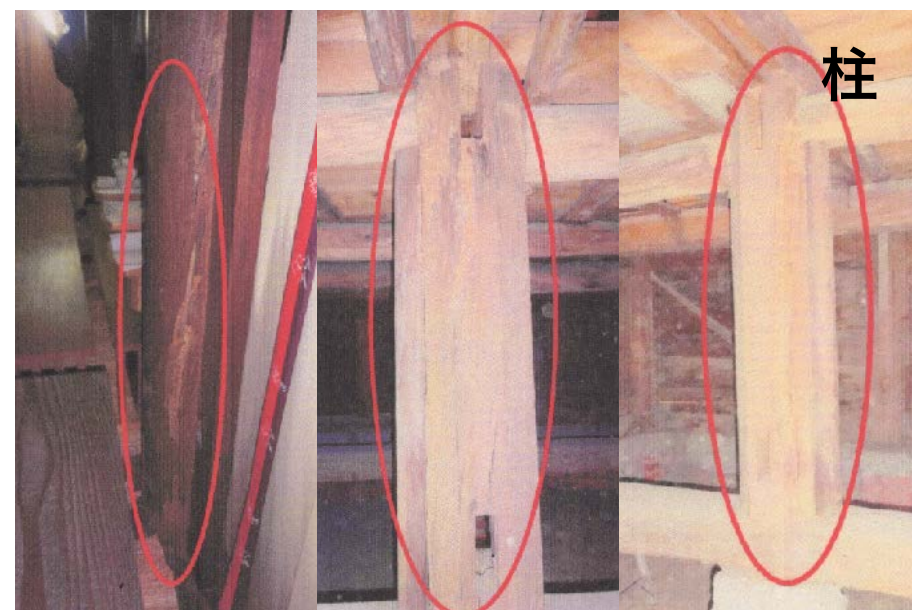
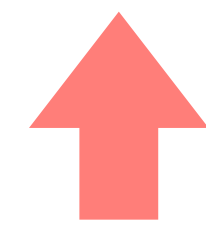


結論は…

いずれにしても、被害状況からすると保存修理工事は考えられない状況と思われる。今後の耐用年数については、現在本殿は拝殿・幣殿と繋がっている為に全体で強度を保っている状況と判断できる。また、雨除が本殿を支えている状態になっているので何ヶ月という短期での倒壊は考えにくい。しかしながら、地震等の自然災害が起これば倒壊する危険性が高いことに違いがないため、早急の対応がやはり望まれる。

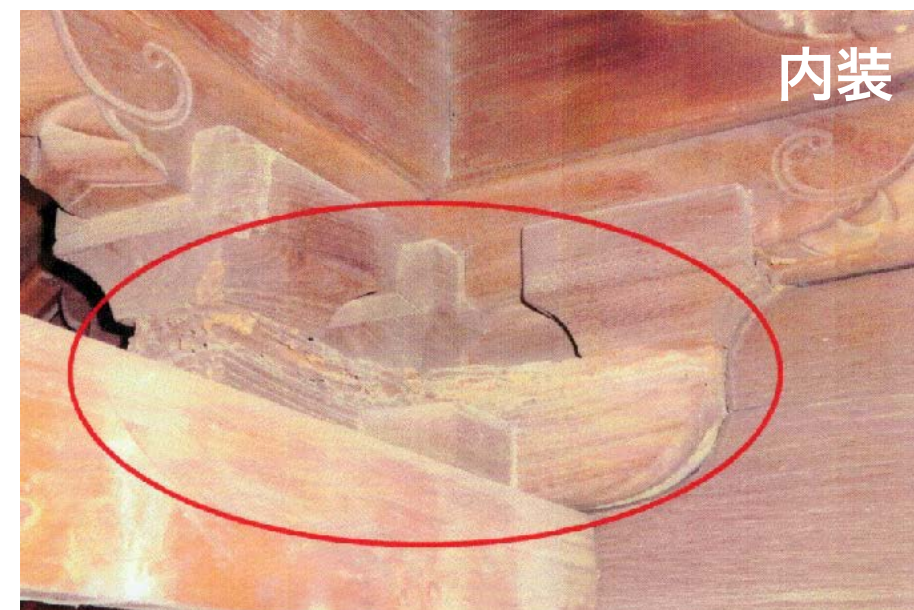
尚、上記で述べたように本殿は幣殿・拝殿と繋がっている為、シロアリの被害が広がっている可能性があることが同時に懸念される。

地域の歴史の証人として本殿は残したかったが…
断腸の思いで本殿を建て替えることに。
建物で「見える歴史」「分かりやすい歴史」は残せなくなった。どうしよう…。
でも、本当に残したいのは「形」ではなく、神道の教え、日本人の美德ではないのか？



柱

柱各部に、蟻道が表面に出て、目視できる状態



内装

柱上部も、シロアリによりスポンジ状に劣化



床下

床下の柱は、シロアリによりスポンジ状に劣化



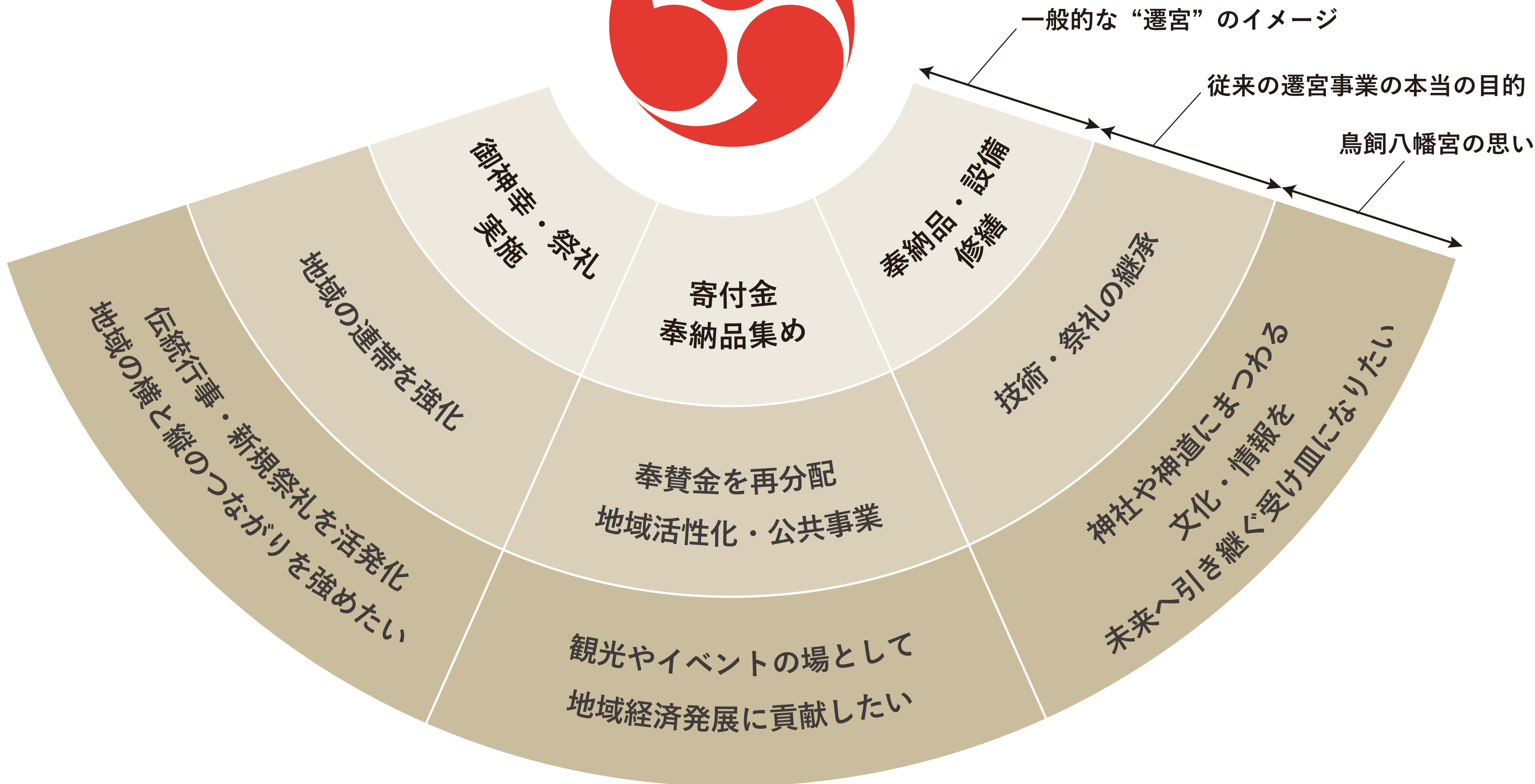
外観

屋根は、東鬼板の木下地が腐食し銅板剥落

調査報告の一部

建物という形にこだわらず、百年後、千年後に残したい神道の教え、神道のこころを形にしよう
そう思い至りました。

むすびの神
鳥飼八幡宮



遷宮とは本殿の建て替え、神社の設備更新と捉えられがちですが、遷宮は従来、地域活性化・技術の継承などを目的とした公共事業でした。鳥飼八幡宮では次世代の地域や神社界の活性化を視野に入れた事業として取り組みます。

コンセプト

原点回帰

江戸時代後期の建物を文化財として残すのではなく、神道という日本人の「信仰」「国民性」「風習」などを体現した神社という空間を出現させます。二〇〇年の歴史ではなく、一八〇〇年の時空を超えるご縁を未来に残していきたいと考えています。

鳥飼八幡宮
新しい拝殿・本殿
イメージ図

本殿
お神様が在します
お社の原点の姿

弊拝殿
古代からの信仰の形
磐座(いわくら)をイメージ

摂社末社を統合し
参拝のアクセスを
集中させます

巨石信仰、環状列石
磐座は今に息づく

石柱10本に茅葺
伝統的な素材で
原点回帰を体現



自然崇拝からはじまり、巨岩、山などの信仰から磐座へ。さらにお社へ変化してきた「祈りの場」。数千年の流れを感じる事ができる場所にしつらえます。

石柱と茅葺

この遷宮で象徴的な建設資材は、伝統的な「石」と「茅」です。石柱は永久（とこしえ）、茅葺は常若（とこわか）と神道で重視される精神を表現しています。どっしりと地域に根付き、いつも新鮮な発見がある神社を目指しています。



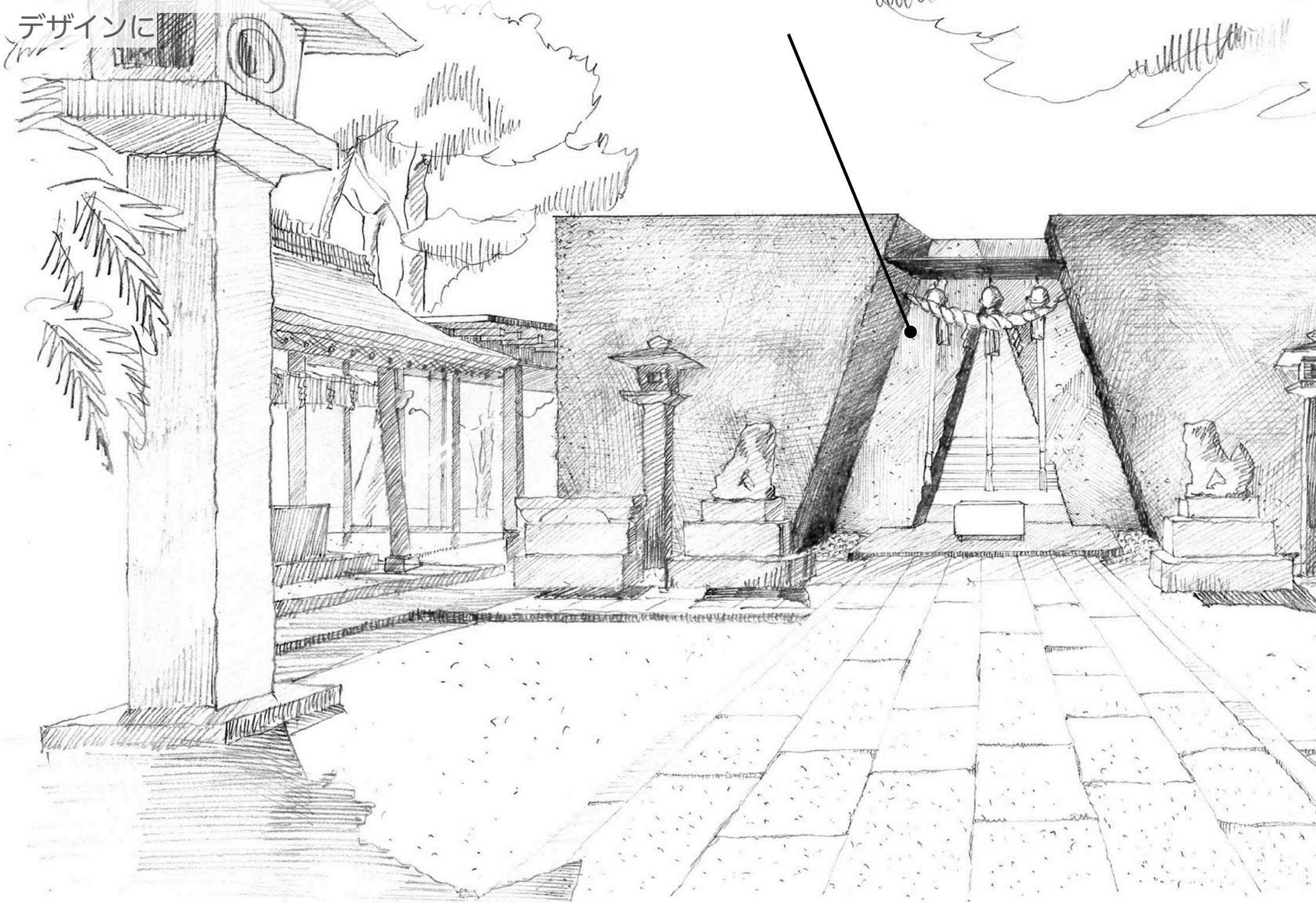
楼門は今後も修復保存して用います



この石を正面に用います



当社祖霊殿や周辺の景観ともマッチしたデザインに



変わることのない神道の精神を新たに構築しつつ
楼門や樹木など伝統的な境内の雰囲気や、変わりゆくまちの景観を
より引き立たせるよう、これから数年間かけて整備していく計画です。

御神幸

神輿や山車などに、お神様が宿った依代を乗せて、まちを練り歩く祭礼のこと。遷宮事業では、新しくなった本殿で御神徳が増したお神様の力を氏子区域に行き渡らせます。奉賛会、氏子区域の皆さまなど、事業にご協力いただいた皆さまにご参加いただきます。

◆ 昭和五二年遷宮時の御神幸



神輿が氏子区域を練り歩くのは遷宮時のみ



当時の奉賛会の皆さま



伊崎町の町内会では賽銭箱を修理



児童もたくさんご参列いただきました



黒門地区では扁額を御奉納いただきました



西町は修繕した獅子頭を筆頭に



行列を鮮やかな装束で彩られました



勇壮な神輿の駆け込み



楼門の随神さまが表に出るのは珍しい

※鳥飼八幡宮の氏子区域

中央区鳥飼・城南区鳥飼・中央区今川・中央区大手門・中央区港・中央区荒戸・中央区城内・中央区大濠公園・中央区黒門
中央区大濠・中央区西公園・中央区伊崎・中央区荒津・中央区唐人町・中央区福浜・中央区地行・中央区地行浜・中央区六本松
中央区谷・中央区草香江・中央区梅光園・城南区別府・城南区城西団地 ※記載の町内のうち、全域が氏子区域ではない所があります。

奉祝祭

奉賛事業にご協力いただいた、奉賛会、地域の皆さま、奉賛者の方々を顕彰し、氏子区域、神社の弥栄を祈る祭礼です。直会(食事会・交流会)なども催します。また、遷宮後の1年間は遷宮記念行事を開催する予定です。

遷宮スケジュール

